

## 王子ワッカナイ水源地（苫小牧市）

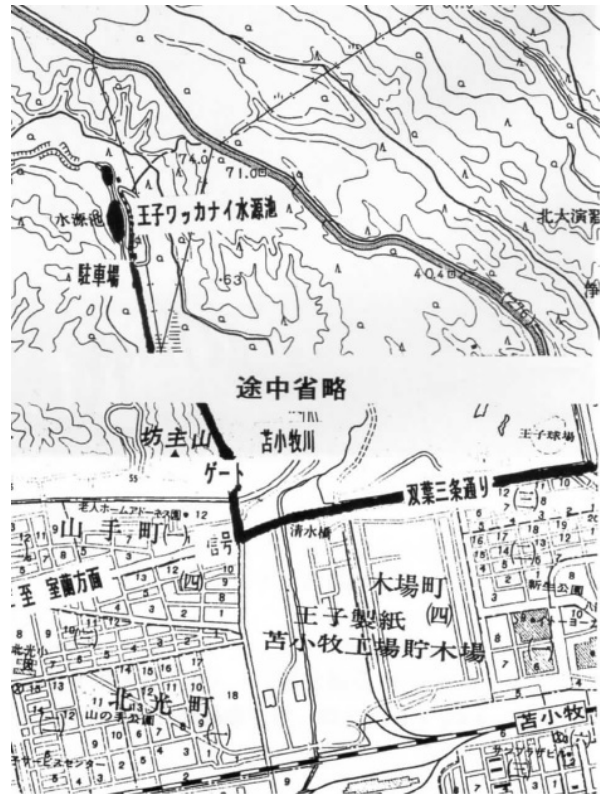
成澤 里美

私が、ワッカナイ水源地に鳥見に行くのは、晩秋から早春にかけて、シーズンに2~3回くらいです。水鳥をじっくりと観察するにはいい所だと思います。経路は次の通りです。苫小牧市双葉三条通りを室蘭方面に進み、進路左側の王子製紙貯木場がとぎれる頃、清水橋をわたってすぐの信号を右折します。ここから4kmほどです。苫小牧川を渡ってすぐ、ゲートがありますが、午前7時から午後5時までは施錠していないので、開けて通ることができます。未舗装の原野の道を進み、道なりの突き当たりで到着です。

駐車場辺りでは、イチイの木でヤマガラ・シジュウカラなどのカラ類が迎えてくれます。シマエナガの群れやオオタカに会ったこともあります。左手には水門から流下した川が流れ、火山灰の川床を見せながら雑木林の谷に入って行きます。

管理事務所に一言ご挨拶し、構内を進むと、ちょっとした広場になっており、ヤチダモやミズナラなどの木々が茂っています。カラ類やキツツキ類など森林性の鳥が見られ、ホオジロ・ツグミ・シメ・イカル、時にはミヤマホオジロが現れることもあります。

水源地は、一望で見渡すことができる小さな人造湖です。道が湖岸にそって真っ直ぐに続いているので、道端のどの部分からでも観察できます。湖面には水鳥たちが思い思いに浮かんでいますが、手前の方には、ホオジロガモ・キンクロハジロ・カワアイサ・ホシハジロ・カイツブリなど、中程から奥の方にはヨシガモ・ヒドリガモ・オナガガモなどがいることが多く、オカヨシガモを見ることもあります。一番多いのはマガモ・コガモで岸の近くに寄っています。平成10年11月には、口元に小さな白い模様のあるトモエガモの雌タイプを見



王子ワッカナイ水源地

つけました。目の後ろの緑色のヒドリガモやアメリカヒドリとの交雑らしいヒドリも見かけました。時々アメリカヒドリが混じっていました。

近年、湖底の浚渫を行ったとかで、水鳥の数が減っているようですが、平成13年1月にはコガモの群れの中にアメリカコガモが混じっていて、なかなかあなどれない場所だなあと思いました。ここではセグロセキレイが繁殖していると思われます。

行き帰りの原野の道でも、ツグミ・ベニマシコが車の前をかすめ、コウライキジが顔を見せたこともあります。電柱にノスリ、上空に尾端の黒帯が目立つケアシノスリの白っぽい姿を見ることもあります。

今までに出現種数、48種を数えています。